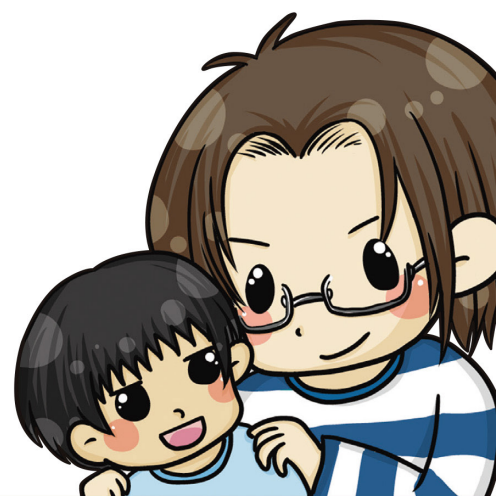


# 投資の基本は FX で 覚えよう!



ゆきママが2018年を大胆予想!  
相場の中心はビットコイン?



## なぜ今FXなのか?

仮想通貨はビットコインだけじゃない?

# 今年は○○がくる!



## 第1章

## FXの大逆襲

## ～なぜ今あえてFXをやるのか?～



## トレードの基本になるFX

なぜFXがトレードの基本になるかというと、やはり市場における公平性が保たれやすいという点が挙げられます。教科書通りの値動きになる場面が多いため、しっかり勉強することが経験値として確実にプラスになるといえるでしょう。

一方で、例えば株の場合、インサイダー取引からも分かるように、個別株であれば規模が小さいこともあって、ちょっとした情報を事前に知るだけで大儲けできてしまい、公平性の担保が問題となっています。

さらに、ここ最近ではLINEなどのSNSを中心にグループを形成し、中小型株の相場操縦を行なっていることも明るみに出ています。これでは、私たちのような資金を持たない小口の個人投資家はひとたまりもありませんよね。

FXは「危険」とか「ギャンブル」といったイメージが先行し、あまりその価値が認められていない感もありますが、**市場規模の大きさや国家間の動向で決まる相場は、他の市場と比べてフェアである**ことを忘れてはならないと思います。



## 投資は怖いと言いつつ投機が大好きな日本人

日本人の現預金比率の高さは、先進国の比較の中でも突出して高いことが金融庁の資料からも明らかとなっています。これは投資教育を受けていないことが背景にあると指摘されていますが、そもそも投資をする必要がないと感じている人が8割を超えています。

昨今は貧困がキーワードとなっているものの、世界的に見れば平均的で底の生活水準の高い日本人は、あまり投資を必要に感じる場面が少ないのかもしれないですね。あるいは、投資嫌いというより、教育を受けたことがないので恐怖が先立って踏み出せずにいるという方も多いかもしれません。



投資は必要ないし、リスクである・・・しかしながら、投機的なギャンブル依存症が疑われる人の割合については、EUの平均が1.5%であるのに対し、日本は3.6%となっており、投資は怖いけれども、投機、ギャンブルは好きというのが日本人の特徴でもあります。

投資の重要性というのは、もはや言うまでもありませんが、低金利が続く中で物価が上昇している現在、単にキャッシュをそのまま保有しているのでは、実質的に資産価値は目減りしてしまいます。投資にリスクや損失はつきものですが、**むやみやたらに怖がって投資をしないことは、知らず知らずのうちに実質的な損失を抱えてしまう**ことにもなります。



## 本当に地に足をつけた投資とは？

皆さんは、短期的なトレードは投機、ギャンブルで、長期的な運用は投資といった言葉に騙されていませんか？実は、本来の経済理論の世界では、特に投資と投機を明確に区別する定義は存在しません。

それでも、日本でこのような価値観が根付いてしまったのは、過去の証券会社が投資は投機と違ってギャンブルではないというために、勝手に長期運用は良くて社会貢献にも繋がるというフレーズで宣伝したからです。

投資の世界は、長期運用をしたから勝てるという甘い世界ではありません。こういった喧伝に騙されて、勧められるままに虎の子の大切なお金を運用をすることこそが、投機でありギャンブルと言えるのではないのでしょうか。

**地に足をつけた投資をするために必要なことは、商品の特徴を知り、日々勉強を続けること**です。投資の世界にこれを学んだから終わりというバイブルはありません。常に変動し続ける値動きを追いかけて、地道な努力を続けるしかないのです。

投資に関しては色々な考え方があると思いますが、結局は怠惰を求めて勤勉に行き着くというか、努力を積み重ねないと成功は得られません。一発逆転を求めるのでは投機になってしまいますから、投資家になるべく頑張ってください！





## 第2章

## FXの技術論

～確立されたトレード手法が最強の武器に～



## 初心者には落とし穴に要注意

## Point 1. 『窓開け』にご用心。ポジションを持ち越す際は一考を!

もしかすると『窓開け』が何を意味するかわからないという方もいらっしゃると思いますが、これは前の時間の終値と次の時間の始値という2つのレートに大きな乖離が発生し、チャート上では広い空間が発生することを『窓が開いた』などと表現します。

そして、この窓は特に週明けに発生しやすいので要注意です。理由としては、レート配信が止まっている土日間に何らかのイベントが発生することで、**月曜日の始値レートが金曜日の終値レートから、どうしても大きく離れてしまうことが多い**からです。

市場が開いていれば対応することが可能なのですが、土日はどうしてもクローズド状態でテロやクーデターなどが起こったとしても対応することは難しく、指をくわえて眺めているしかありません。結果、週明けに想定以上の損を被ってしまうことになりかねません。

なので、慣れないうちは金曜日で一旦決済するということを心がけておくといいでしょう。また、慣れてきて持ち越す際には、ポジションを調整して減らしておくとか、証拠金に余裕があることを確認するといった癖をつけておきたいところです。

意外と意識されていなかったり、ついつい忘れてしまうのか、初心者の方に非常にありがちな失敗となっています。また、レートそのものが大きく乖離するため、損切り注文（逆指値）を行なっても、想定レートで決済されずにロスカットされてしまったという最悪のパターンもありますので、ご注意いただければと思います。



**Point 2. 『誤発注』はダメ、絶対！最初は再確認を心がけましょう！**

こちらはケアレスミス部門の第1位ですね。FXをやっている方なら、誰もが一度は経験したことがあるでしょう。ですので、初心者の方はなおさら気をつけていただければと思います。

ミスの内容としては、例えば、ロング（買い）とショート（売り）を間違えてしまったり、最近は桁数が増えているため指値や逆指値の数字、取引数量、通貨ペアなどなど、ありとあらゆる『誤発注』パターンがあります。

まさに単純なミスですが、プロの世界でもジェイコム株大量誤発注事件というのがあって、みずほ証券の男性担当者が「61万円1株売り」という注文を「1円61万株売り」としたことで、結果的に約407億円の損害になったということがありましたからね。

FXでは、証拠金によって自ずと注文量も制限されるため、多少の誤発注でもすぐに気がつけば酷くマイナスになることはないでしょうが、やはり単純なミスですので、特に注意してトレードしていただければと思います。

また、最近はワンクリック注文が基本となっていますから、意図せずクリックが発生してしまって気がつかないうちにポジションを持っていた、なんてこともあり得ますから、**トレードを終えてログアウトする際などは保有ポジションなどを確認する習慣をつける**となお良いでしょう。

**Point 3. 兼業トレーダーは誰もが経験する『寝落ち』、適度な休息を…**

これも代表的なFXあるあるですねw トレードしているうちに眠くなって、夢の中に突入してしまう『寝落ち』です。お仕事をしている方はどうしてもやってしまいがちな傾向があるので、ご注意くださいいただければと思います。

やはり相場が動くのはNY時間帯ということで、日本時間だと深夜から早朝にかけてですから、日本人にとっては最高に眠い時間にチャンスが訪れることが多く、チャンスを待っているうちにいつい夜更かししてしまい・・・というパターンです。



寝ている間に暴騰・暴落といった激しい値動きがあって、起きた頃には取り返しのつかないことになっていたとならないよう、スキャルピングを中心にした短期トレードで高いレバレッジをかけている方は特にご注意ください。

そして、こういったミスをしないためには、**普段から眠い時はトレードをしない、疲れている時は一旦休んでから参加するといった一定のルールを作っておくと良い**かもしれません。

さらに、疲れていて集中力がない状態で無理にトレードしても、力を出し切れずに結果が伴わないといったことになりかねませんから、体調を万全にしてトレードに臨むということを普段から意識しておきたいところでしょう。

## Point 4. 過度な期待はNG!『スワップポイント』の魔力とは?

最近FXを始めたという方はあまり知らないかもしれませんが、リーマンショック前までは『スワップポイント』狙いのトレードが旺盛を極めた時代でもありました。

このスワップポイントとは、2国間の金利差によって発生する利益です。例えば日本のように金利が低く預貯金に全然利息のつかないような通貨を売って、新興国のように金利が高く預貯金にバンバン利息がつく通貨を買うと発生するわけですね。

FXの場合は、この2国間の金利差に伴う利息（スワップポイント）がほぼ毎日受け取れるということもあって、これを狙って取引をするトレーダーも多くいます。

もちろん、相場に対して大局観を持ち、スワップポイントを生かした中長期的なトレードを行うというのであれば問題ありませんが、**あくまでFXのメインは為替相場の変動による差益を得ることに他なりませんから、必要以上に捉われないように**したいですね。

**Point 5. 念のために今から考えておきたい『税金』の話…**

プラスになれば心配する必要はありませんが、ここ最近マイナンバーが導入されましたし、FX に対する税務署の目というのも徐々に強まっているせいか、たまに脱税容疑で逮捕されたといったニュースを耳にします。

申告する必要があるか否かというのは職業や年収、その他の所得状況などによって異なるため一概には言えませんが、少なくとも 20 万円を超える利益が出た場合には確定申告が必要とされています。

主婦や学生といった方は、FX を含めた所得が 38 万円以下であれば確定申告は必要ないとされていますが、気になる方は管轄の税務署などに確認するのが一番です。ちなみに FX に関係なく、そもそも確定申告が必要な方は利益が 1 円でも出れば記載する必要がありますので、ご注意ください。

そして、日頃からの備えとしてやっておきたいのは、領収書をしっかり集めておくということです。もちろん、レシートでも大丈夫なので、必ず全て捨てずにとっておきましょう。

どこまでが経費かというのは、税務署員それぞれによって判断が異なるとされるほど曖昧な線引きなのですが、ネット使用料や電気代の一部、FX 関連の書籍の購入費、セミナーにかかった費用やそれに伴う交通費などは認められる可能性が高いとされていますので、しっかりとっておいて稼いだ場合の節税に役立てたいところです。

レシートはついつい捨ててしまいがちですし、もらい忘れることも多いですからね。ちょっとした手間ですが節税につながりますので、もらう習慣をつけるようにすると良いでしょう。

それから、税金のルールというのはやはり複雑ですし、本当に節税を考えるのであれば、税理士さんに相談するのもアリです。ゆきママも確定申告は税理士さんにお任せしていますが、やはり専門家じゃないとわからないような節税方法もたくさんありますからね。

とにかく、まずは稼ぐことを想定しつつ、**もし年末近くなって確定申告するのが面倒だなという方は、20 万円までとか 38 万円といった利益で止めるということもできます**から、税金のことも頭の片隅に置きつつトレードしていきましょう。

**Point 6. 各国の『経済指標・イベント』はちゃんと調べて確認しましょう!**

まず、『経済指標』というのは、経済状況を構成する要素（物価、金利、景気感アンケート、住宅価格など）を意味しています。結局のところ、為替動向は各国の経済状況に大きく影響されますから、こういった指標が重視されています。

ほぼ毎日発表されていますので、必ず事前に確認して重要な指標が発表される前には、ポジションを調整しておくなどといった対策を忘れずにやっておきたいですね。

とりわけアメリカの雇用統計は、月に1度のお祭りとしても知られており、相場が乱高下したりスプレッドが広がって含み損が大きく拡大することもありますから、警戒しておきましょう。

この他、選挙に代表される政治的な『イベント』でも大きく相場が動かされることになります。アメリカの大統領選挙でトランプが勝利した時の乱高下というのは記憶に新しいところです。

このような**指標やイベントによって相場は大きく動きますから、日々のスケジュールはしっかり把握**しておきましょう。

FX 各社の HP で確認できますし、ゆきママのブログでは政治的イベントを含めて値動き要因となりそうなものを毎日ピックアップして解説しています。この次の第3章では、ゆきママの選んだ重要指標やイベントについていくつか紹介させていただきますので、最後までお読みいただければと思います。

**Point 7. 経済指標は『夏時間・冬時間』によって発表時刻がズれる!?**

日本人にはあまりなじみのない『サマータイム（夏時間）』。これは1年のうち夏を中心とした期間に太陽の出ている時間帯を有効活用する目的で、標準時を1時間進めるという制度で、欧米ではほとんどの国で行われています。

では、なぜこれが重要かというと、**この夏時間に伴い、経済指標の発表時刻も1時間早まる**からですね。FX を始めて数ヶ月もすると、経済指標が何時に発表されるかがわかってくるので、ついつい確認を怠ってしまったりします。





しかしながら、これが大きな落とし穴なんですよね。夏時間に切り替わった、あるいは終わったのにも関わらず、呑気に構えていると相場が急激な値動きをして・・・。

普段であれば、経済指標の発表に備えてノーポジション（ポジションを持っていない状態）にしているのに、後の祭りになってしまったなんてことの無いようにしたいですね。

さらに、各社の取引可能な時間帯も夏時間と冬時間で異なるため、金曜日のマーケットクローズ前にポジションを決済しておくつもりが間に合わず、持ち越した結果、月曜日はまさかの窓開けスタートで・・・。といったパターンもあり得ますから、注意しましょう。

※夏時間は、アメリカなら3月の第2日曜日に始まり、11月の第1日曜日に終了。  
EUでは、3月の最終日曜日から10月の最終日曜日までとされています。



## ゆきママ流トレードテクニック

### Step 1. 適切なポジションサイズとは？ 一発退場しないことを心がけましょう！

適切なポジションサイズ、あるいはどの程度で損切りするのかというのを事前に考えておくとい良いでしょう。

いわゆる資金管理にも通じる話ですが、ここではトレード1回あたりのロット数（ポジションサイズ）や損切りに対する考え方について具体的に解説していきます。

### ・資金面と心理面の両方から、自分自身の損失許容度を考える

ポジションサイズを考える上で、資金面は当然として、心理面も忘れてはなりません。なので、最初に自分自身がどれぐらいの損失に耐えられるのか、ということを考えていくとい良いでしょう。

FXはメンタルが全てとも言われるほどで、デモトレードでは成功していたのに、実際のトレードでは全然上手くいかないといった声は非常に多いです。やはり自分の保有するポジションの含み損などを眺めていると、ついつい冷静な判断ができなくなってしまうというのは本当にありがちな話なんです。



プレッシャーに耐えられず、細かい損切りを繰り返してしまうのでは元も子もありません。したがって、ほぼ平常心でトレードできるようなポジションサイズというのが、心理面における適切な目安となりますので、ぜひしっかり見極めておきましょう。

次に資金面からですが、これはトレードスタイルや取引手法によって異なるので一概には言えませんが、とにかく一発で退場することは絶対にないようにしましょう。

目安としては、1回の損失における投資資金の減少幅は最大でも2～10%程度です。この場合だと、10～50連敗程度で軍資金がゼロといった状態になります。

カジノのルーレットをやったことがある方はよくご存知かと思いますが、実は赤が10連続でたり、あるいは黒が10連続で出るといったことは、それほど珍しくはありませんからね。つまり、FXに置き換えれば、**勝率50%で10連勝することも10連敗することも十分に起こり得ますから、それぐらいには耐えられるようにしておきましょう**ということです。

ただし、あまり厳格にしてしまうと、細かな損切りが続いてしまったり、そもそも損切りのポイントを見極めるといったトレードそのもののレベルアップにつながらない可能性もあるので、あまり幅をきっちり決めすぎるのもどうかとは思いますが、初心者の方はせいぜい10%も負けたら一旦は撤退すべきポイントだと考えています。

というわけで、心理面と資金面の双方から適正なポジションサイズ、損切りポイントを考えて、適切な資金管理を行うよう努めていきたいところでしよう。トレード手法やテクニカルも重要ですが、まずこういった基本的な事柄を押さえていただければと思います。

## ・損切りは次への投資と考えて迷わずに実行しましょう

損切りは迷わず、いつでもきちんとできることが理想ではありますが、そうはいってもなかなかできないといった方が多いようで、よく相談をいただくことがあります。せっかく損切りのポイントを決めていても、ズルズルと引っ張ってしまって塩漬けになってしまったという話はFXあるあるなんですよね。

損切りに関しては、本当に経験を積み重ねていくことも大事なので、なかなか一長一短にできるかと言えば、人によって個人差はあると思いますが、ゆきママが損切りする際に心がけていることをお話しさせていただきますと、『損切りは次に備えた投資でもある』ということです。



一体どういうことかと言えば、**難しい相場で失敗してしまったとしても、しっかり損切りをしておけば、次の分かりやすいチャンス相場に備えることができます。**ぜひ、皆様も次の投資であると考え、致命傷に至らないように取り組んでいただければと思います。

## Step 2. トレード手法の作り方は？詰め込みすぎはNGです！

トレード手法については、多くの方がお悩みとは思いますが、これは本当に個人のライフスタイルや考え方、状況などによって異なってくる側面もあるため、万人にとっての正解はなく、あくまで自分で作っていくというのが求められるでしょう。ですので、ここではちょっとした作り方について紹介しておきます。

### ・トレードのルールはいくつかに分けて少しずつ考える

先ほど損切りについて書きましたので、実は現時点でルールは1つできています。とにかく、一発で退場することのないような資金管理として、1回あたりの損失が投資資金の2～10%程度に抑えるということです。この範囲内でやると決めているのであれば、決済のルールについては半分ぐらいできていますよね。

ですので、これを利用しつつ、エントリーにおける手法作り、**ポジションサイズや利益確定、損切りといった資金管理に関するルールなどを少しずつ決めていけば良い**でしょう。やはり知識も経験もないまま、一度に全てのルールを作るとするのは難しいですから、いくつかポイントを分けて考えるようにし、失敗や成功を繰り返しながら徐々に完成させていくというのがベターです。

ここで注意したいのは、詰め込みすぎはNGということです。初心者の方ありがちなのですが、色々な手法を調べるあまり、詰め込みすぎて矛盾だらけになったり、自分自身でも把握できないレベルまでルールが肥大化してしまったりして、全くトレードにならないという方もいます。

慣れるまでは基本的にはシンプルな手法の方が、失敗した時も修正がしやすいですから、あまりルールを複雑にしすぎないように心がけるようにしていただければと思います。

ちなみに、ゆきママの手法としては、ファンダメンタルズ分析を中心にして相場の状況を把握し、大体の大まかな方向性を割り出します。例えば、上に行くのか下に行くのか、それともレンジ相場が続くそうなのかといった程度です。



それに加えて、オーソドックスなテクニカル分析をして、エントリーのポイントを絞っていくといった感じです。使用しているテクニカルは、移動平均線やボリンジャーバンド、一目均衡表といったメジャーなものです。多くの人が見ているからこそ、抵抗線・支持線として機能すると考えてのことです。

日々の相場観やトレード戦略については、ブログやツイッターなどでお知らせしていますので、ぜひぜひ今後とも遊びに来ていただければ幸いです。

### Step 3. 日々のトレードについて記録！勉強に終わりはありません…

ゆきママの場合はブログという形で日々の相場観やトレード結果について記録していますが、何らかの形で記録に残しておくことは非常に重要だと考えています。

中には、FX 会社の売買記録のみで十分という方も見受けられますが、その中には何を考えてエントリーしたのかということや、相場へ対するその時の見通しといったことまでは記録されていませんよね。どんなシチュエーションで自分が損を出したのかが分からなければ、反省のしようもないですし、結局はトレードの質が向上することはありません。

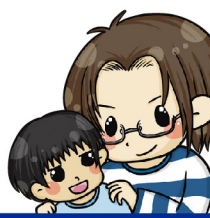
なので、できるだけトレードノートを作って記録するようにしましょう。これは、トレード手法を作り出す上でも必須の作業となりますので、ゆきママのようにブログにまとめるのもアリですから、ぜひ習慣化していただければと思います。

#### ・特に負けた時は念入りにしっかり記録するようにしましょう

そして、記録しておくべき内容についてですが、(1) 自分が何を考えてトレードしたのか、どう予想していたのか、(2) その予想に基づいたトレードの結果、(3) 反省点・修正点や今後における備考など、主にこの3点を記録に残しておく、後々見返した時に役に立つでしょう。

また、特に負けた時は念入りにしっかり記録しておく、と良いでしょう。とにかく投資においては致命的な失敗を避けるというのが初心者の方はもちろんのこと、上級者になっても必須のスキルでもありますし、二度と同じ失敗を繰り返さなければ、自ずと勝率は上がってきますからね。





なんといっても、投資の勉強に終わりというものはありません。「これさえ知っておけば勝率9割!」なんて甘い謳い文句で勧誘されたりすることが今後あるかもしれませんが、騙されてはいけません。

相場のみならず世界というのは常に新しい技術が開発され、従来の常識がどんどん覆されていますから、これさえ知っておけば未来永劫通用するなんて知識はそもそも存在しないでしょう。

だからこそ、**毎日毎日コツコツと勉強し、長い視点で投資と付き合っていくことが何より重要**となりますので、ぜひこのことを理解した上で、トレードしていただければと思います。



## ゆきママ流ファンダメンタルズ分析手法

ゆきママはほぼ完全なファンダ派でテクニカルよりもファンダメンタルズを重視しています。そもそもファンダメンタルズとは経済の基礎条件と訳され、経済指標を中心に分析されることが多いですが、最近は政治動向や金融政策が中心となっていますので、そちらも分析の対象となっています。

経済情勢、政治動向、金融政策をどのように分析するのか、そして情報源はどこから得るのかから詳しく解説していきたいと思います。

### Point 1. 無料の情報源をフル活用しましょう!

実はゆきママは月30万円近くを新聞の購読料や有料メルマガ・レポートに使っています。ただ、トレードでかなり稼いでいるのであれば別として、始めたばかりの方にとってはかなり大きいコストでしょう。なので、**まずは軌道に乗るまでは無料で優良な情報を得る**ようにしましょう。

#### ・ウェブサイト

ウェブサイトは本当に基本中の基本ですね。有料のものもありますが、せいぜい月額数千円程度ですので、ぜひ検討していただければと思います。



- ・日本経済新聞
- ・WSJ（ウォールストリートジャーナル）
- ・ロイター
- ・ブルームバーグ
- ・BBC

日本語版サイトもありますが、できれば原文の英語版に当たれると良いでしょう。やはり翻訳までにはラグがあって速報性にかける部分もありますし、一部記事しか翻訳されずに情報不足に陥りがちです。

英語が全然できないという方でも、ここ最近の Google 翻訳は飛躍的にレベルアップしていて、原文をそのまま突っ込むだけで、知識があればそこそこ読めるようになっていきますので、まずは諦めずに読むことが大事かと思います。

## ・ツイッター

実は最近ツイッターが非常に大きな情報源となりつつあります。実際、トレーダーのみならず AI などでもツイートを分析しているとされるほど、注目されています。ちなみに、統計的にはフォロワーが多ければ多いほど情報の信頼度が高いという記事もあるほどです。

### ・岡三マン (@okasanman) :

ニュース速報から経済ニュースまで幅広いフィードで呟いています。速報性が高いので、情報源として役立ちます。

### ・トランプ大統領 (@realDonaldTrump) :

突然重大なことを呟いて相場に影響を与えることもしばしば。通称トランプ砲が炸裂します。影響時間は 24 時間近いとの統計データが報じられたことも。

### ・zero hedge (@zerohedge) :

世界的な超著名投資ブロガー。超有料級、半端ない金額（3 桁万円以上）で取引されているようなレポートが無料で公開されていたりするので、フォローはもちろん、ブログも必ずブックマークして欲しい。

### ・松崎美子 (@LondonFX\_N20) :

ロンドン FX でお馴染み。イギリス在住のトレーダーの方です。特に英国が中心ですが、欧州も含めて情勢を詳しく解説されているので、ポンドやユーロをトレードする方は必ず押さえておいていただければと思います。

とりあえず、上記に加えて各ニュースサイトもフォローしておく、それほど情報不足に陥ることはないと思います。



## Point 2. 情報を整理して重要性を評価する

ウェブサイトやツイッターから情報を得られるようになったら、情報を整理して評価する過程に挑戦しましょう。最初は難しく感じるかもしれませんが、毎日やることで徐々に慣れて簡単にできるようになりますから、続けていただければと思います。

- ①経済情勢（経済指標を中心に原油相場などにも目を向けておく◎）
- ②政治動向（選挙や支持率、スキャンダルといったものに注目）
- ③金融政策（政策はそのものは当然として、長期金利の動向も必ず確認）

上記の材料をトレードする通貨ペア毎に集めましょう。米ドル・円であればアメリカと日本の経済情勢、政治動向、金融政策をそれぞれ材料として探します。特に話題になってない場合は、なくても構いません。

次に、それらが買い材料なのか売り材料なのかを分類し、点数をつけていきます。点数は慣れてくれば5段階評価でつけて欲しいですが、慣れないうちは3段階評価で重要度の高いものを10点、中程度のものを5点、全く話題になってないものを1点ぐらいで評価します。

例えば、金融政策についてアメリカのFRBから利上げやバランスシート縮小がアナウンスされ、大きく取り上げられているのであれば、ドル買い材料として10点。逆に、雇用統計が大きく悪化して経済見通しに暗雲が漂うような場合はドル売り材料として10点といった具合です。

できればそれぞれの材料を書き出して点数をつけ、差し引きでドル買い材料の点が高いのか、ドル売り材料の点が高いのかで、今はドル買いになりやすいのかドル売りになりやすいのかを判断します。また、ドル円であれば円も同じように材料を探して点数をつけ、円買いか円売りかを見極めましょう。

こうすることで、通貨ペアの方向性というのはかなり見えやすくなるはずです。重要な材料などについては、ゆきママのブログでも都度解説していますから、ぜひそういったことも見て評価の精度を徐々に上げていただければと思います。

今後予定されているイベントなどについても、こうなったら何点ということがわかるようになれば、そのイベントが発生した段階で相場の展望が見えるため、トレードに活かしやすくなります。

また、突発的なイベントやニュースのヘッドラインについては評価が難しいですが、続けているうちにそれも評価できるようになりますから、焦らずやっていきましょう！)





## 第3章

## 2018年展望

## ～今年は大荒れ? ゆきママの大胆予測～



## 絶対に見逃せない今年の相場のポイント!

今年の最大のポイントは、おそらく各国中央銀行の動向となるでしょう。とりわけ、震源地となりそうなのが日銀であり、今年4月で人気を迎える黒田日銀総裁の後任人事を含めて注目しておく必要があります。

年明け早々の日銀オペでの国債買い入れの減額が、正常化へ向けたステルス・テーパリングではないかと大騒ぎになり、円高が進みましたからね。日銀は単純な量ではなく金利にコミットした政策を行っているため、多少の増減は当たり前なのですが、海外勢を中心に敏感に反応していますので、日銀の動向は特に注視しておく必要があるでしょう。

もっとも、既にかかなりの円高が進んでいますから、**日銀が新たな政策を打ち出さない限り、この流れを払拭することは難しいということも念頭に置いておきたい**ところです。

ECB（欧州中央銀行）の動向も、もちろん見逃せません。今年はユーロ高とするエコノミストが圧倒的多数ですが、その理由は ECB が量的緩和を終了させ、金融政策の正常化へ踏み出すといった見方が非常に根強いからに他なりません。

3月4日に行われるイタリアの総選挙は気になるところですが、裏を返せばここさえクリアすれば目先で揺さぶりそうなイベントはないといった考え方もあるのでしょうか。そういう意味でも、とりあえずのユーロという流れは描きやすいのかもしれません。

私の4選もほぼ決まったし、欧州の政治は安定よ!



メルケル独首相





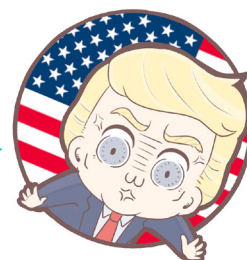
一方で、ドルに関しては、見方が真っ二つに割れています。理由については、FRB（連邦準備制度理事会）による米国の利上げがドル高に結び付くとは限らないということと、年3回という利上げ見通しは楽観的過ぎるのではないかという懐疑的な見方が挙げられます。

利上げに関しては、金利の上昇が株価にとってアゲンストであり、株価が下がるとリスクオフ（回避）からの円高というのも目立ってしまいます。逆に利上げが順調に進まない場合については、そもそもアメリカ経済の陰りでもあるわけで、これもドル安（円高）材料となります。

しかも、相変わらずロシアゲートといった政治リスクが付きまとい続けていますし、トランプ政権自体がドル安を望んでいます。貿易赤字の縮小が選挙公約であるほか、政権が支持される理由として大きいのが株高ですから、海外からの投資を引き込み株価を維持させるという意味でもドル安路線を継続させる可能性が高そうです。

FRBの引き締め政策がどれだけ進展するかが不透明な上、仮に進展してもドル高となるパターンは考えにくく、政治ファクターとしてはドル安方向ですから、これらの流れが大きく変わるまでは、まずはドル安を意識しておきたいところでしょう。

日中韓は好き放題やりやがって、中間選挙のために貿易赤字を減らすぞ!



トランプ大統領



## 世界経済の見通し:NYダウ、為替相場はどうなる?

2017年の上昇率はNYダウ平均が25.2%、S&P500が19.5%、ナスダック指数が28.2%と、株価は非常に堅調に推移しており、本当に強い一年でした。

とはいえ、未だに市場は強気一辺倒にはなっておらず、昨年末に米国内では約30年ぶりとなる抜本的な税制改革を実現させたものの、トランプ政権への不信感は根強いようで、北朝鮮問題が進展していないこと、イスラエル政策で中東情勢は混乱に陥るリスクが高まったとの指摘が相次いでいます。



さらに、10年間で1兆5000億ドルの減税も財政悪化が進むだけであり、経済への影響は限定的との声も少なくありません。また、米研究機関から、減税による成長押し上げ効果は年0.1ポイント前後にとどまるといった試算も出されています。この他、利上げによって米長期金利の上昇が進み、米国経済の成長の重荷になるとの見方も・・・。

このように、とにかくトランプ政権に対してはいまだに批判的な声が大きく、懐疑的な意見が多いことは事実です。しかしながら、冷静に考えれば税制改革を実現したことは、まさに「有言実行」であり、前述した政治的な批判が投資判断にリンクするかといえそうではないでしょう。

また、確かにバブル懸念は昨年から叫ばれ続けているものの、経済の基礎体温ともいえるインフレ率が低い状況の中で金融を引き締めれば景気が急減速するだけです。バブルは怖いと言いつつも、実際に行動に移すだけの勇気のあるFRBメンバーが多くいるとも思えず、全体的にはハト派という流れも十分考えられます。

したがって、トランプ政権の不安定さは気がかりではあるものの、**世界経済、とりわけアメリカ経済、NYダウに関しては、まだまだこれからという認識**を持っていても良さそうです。

為替相場に関しては、先ほども書いたように、まずはユーロ高を見ておきたいところでしょう。FRBの利上げによるドル高といった声もあるものの、インフレ率は物価安定目標の2%に達しておらず、利上げの根拠に乏しさがあることは事実で、加速するとの見方はやや楽観的過ぎますし、日米金利差などはほとんど無視されているのが現状ですからね。

利上げはするが、まだその回数の指定まではしていないことを、どうか思い出していただきたい。



パウエル FRB 議長



### ・日本経済の見通し：日経平均、円相場への影響は？

日経平均株価も昨年は19.1%という大幅上昇となりました。今年も堅調に推移するとみている市場関係者が多く、楽観的な見方がほとんどのようです。もっとも、強気な見通しが多い時に限って、相場は反対に動くこともままあるため、総楽観という現状には注意しなければならないでしょう。

それでも、株価には企業業績という確固たる材料もあるため、まずはここを重く見ておきたいところでしょう。現状では極端な円高に振れない限り、各企業の業績見通しは維持される可能性は高そうですので、相場の見通しもますます良いのかなと思います。

一方、今年の最大のリスクを挙げるとすれば、日本の為替市場を席卷する海外投資家がもっとも嫌がっている政治不安ということになるでしょう。つまり、**安倍一強という長期政権が海外投資家にとって投資における大きな安心感につながっている反面、ここが崩れると相場は冷え込む可能性が高い**ため、安倍首相の今後がポイントと言えそうです。

円相場への影響としては、基本的に株価が支えられている限りは、1ドル＝100円を割り込むような極端な円高を描きにくいのも事実ですから、安倍首相に特段の問題がない限りは、日銀も含めてのアベノミクス継続ということで、比較的安定しそうです。

しかしながら、安倍政権に大きな疑義が生じれば、日銀の政策にも多大な影響をもたらすということで、急な円高になってもおかしくありませんから、その点には警戒しておきたいところでしょう。



## 第4章

## 仮想通貨バブル

～上がっても下がっても得する理由～



## むしろバブルこそチャンス

「今から仮想通貨に投資するのは遅すぎますか？大丈夫ですか？」的な質問は本当に多いです。確かに年初から比べるとビットコインですら20倍近くなったわけですし、アルトコインなどは100倍、1,000倍を超えるものもありますから、そういった意味では、もはやリスクに見合わないといった見方もあり、遅すぎるのではないかと感じるかもしれません

また、リスクが高いことは間違いありません。しかも、税金も総合課税となっていて住民税も含めれば最大55%の課税ですから、元から微妙といえば微妙な商品でもあります。それでも、やっぱりボラティリティ（変動）が高いことは魅力的ですし、**単純なリターンでいけば現段階では最もリターンの優れた商品**と言えるでしょう。

したがって、スポットスポットで有効活用できれば、短い期間でかなりの利益を生み出すことも可能ですから、こういったリスク・リターンを踏まえた上で取り組むのであれば有効なのかなと。実際、ゆきママもチャンスだと思えば結構ハードにトレードしています。

また、バブルが怖いといった話も聞きますが、バブルであるということは異常な高騰が続くことになるわけですから、むしろトレーダーとしては喜ぶべき事象です。問題なのは、いつ弾けるかであり、それを予想するのは非常に困難ですから、仮想通貨に参入していくことに遅いも早いもありません。当然、早ければ早い方は良いでしょうけどね。

巷では、バブルが崩壊する崩壊すると煽られているので不安になる方もいるのですが、いつかは絶対に崩壊するものです。この世のお金が有限である以上、膨れに膨れ上がったマーケットが最後に大暴落を迎えるのは避けようがない宿命ですからね。偉そうなエコノミストがあーだこーだ騒いでますが、時間軸のない予想は無意味です。人はいつか死ぬ、と言ってるようなものなので基本的には無視しましょう。意味がありません。





ちなみに、ビットコインの上がり下がりに一喜一憂しないため、上がったとしても下がっても得するためには、VALUなどでビットコインを調達してしまうのも1つの方法です。既にビットコイン経済圏というのは、ある程度確立されていますので、まずはお金をかけずにビットコインを入手することを検討するのがベターかと思います。



## 必ず押さえておくべき仮想通貨トレードの基礎・基本

ゆきママ流の資金3分割法で暗号通貨相場を攻略しちゃいましょう。これは難しさゼロ!誰でも超簡単に実践できるトレード手法なので、全くトレード指針のない方は、とりあえず参考の1つにしていただければ幸いです。

方法としては、まず暗号通貨投資に使おうとしている資金を3分割します。例えば、30万円スタートであれば、10万円ずつに分ける感じですね。資金の振り分けは以下のようになります↓

### ・ゆきママ流・暗号通貨トレード資金3分割法

#### ①ガチホ用資金

→最初に好きな通貨を買うための資金。このポジションはひたすらホールド。

#### ②デイトレ用資金

→見てるだけだと暇でクソつまらないので、この10万円で適当運用。

#### ③暴落用資金

→30～50%OFFのバーゲンセールは度々ありますから、その時に使います。

手始めに①のガチホ資金で、とりあえず自分の好きなコインを買います。イーサリアム(ETH)、リップル(XRP)、ネム(NEM)、リスク(LSK)などなど、とりあえずメジャーで将来性のありそうなものをいくつか買えば良いでしょう。これは基本的に動かさないポジションになります。



ポジションを持っておかないと落ち着かないというか、常に乗り遅れた感があって無駄なトレードをしがちになりますからね。暗号通貨のベターは積立投資だと思うので、まずここで資金の 1/3 を使って積みま

す。

そして、②のデイトレ資金については、これはそのままですね。国内の取引所の場合、多くはビットコインのみが指値でトレードできますから、適当に下値で注文を出して、無事買えたら、また高値で注文を出しておくだけです。

注意すべき点としては、初心者の方は必ず現物の買いから入ることですね。この上昇力なので、下手に売ると一生救出できなくなってロスカットということがあり得ますから、現物の買いで指値して、それを売るという形で利益を得ていただければと思います。

ゆきママはビットコインの適当なデイトレで、そこそこ稼いでます w とにかく、下がってきたら下の方に指値して寝て、起きてポジションを持っていればちょっと高いかなあというところで売り注文を指して放置です。日中には大体高値を更新してくれるので、適度に美味しいです。暴落してしまうと数ヶ月のホールドを余儀無くされますが、中長期的な投資というのが前提なので、あまり気にしていません。

最後に③の暴落用の資金ですが、仮想通貨は 30 ~ 50%OFF の大バーゲンセールが半月に 1 回ぐらいありますから、いつでも買えるお金は残しておきましょう。上がってくるとつついもっとポジションを持ちたくなりますが、そこはぐっと堪えてせいぜい②のデイトレ資金までにとどめましょう。

当然ですが、③については相場が戻ったらきちんと利食いして、また次の暴落用の資金として備えるようにしましょう。儲けた分については、多少は①と②にまわして使うのもアリですよ。

暗号通貨投資は展望などを考えても無駄になってしまうことがかなり多そうですから、まずは資金の使い方を重視して上手にトレードすることを考えていただければと思います。



## 市場は次のビットコインを探す

今年に入って、ビットコインのETF（上場投資信託）申請に対してSEC（米証券取引委員会）が難色を示したことで、各社が次々と申請を取り下げています。

ビットコインETFは機関投資家がビットコインに投資する際のおもな投資経路であり、多くの企業が広くリテール市場へとビットコインを開放するための努力を続けているわけですが、まずは一頓挫といったところでしょう。

そして、今回は商品設計に問題があるとのことで申請を却下という方向に動いたわけですが、仮に商品設計を修正して、ビットコインETFが認められるようであれば、その商品設計でETFへの上場が続いていくことでしょう。

先物市場への上場によって機関投資家の一部は売りから入っていますが、大部分はまだまだ仮想通貨市場には参入していませんし、安全性の担保がされにくいという背景もあって、仮想通貨を仕入れるということすらしていません。

つまり、**ビットコインETFが決まった瞬間、機関投資家が流れ込んでビットコインの価格が上昇すると同時に、既存の仮想通貨市場参加者は次のビットコインを探す**ことになるでしょう。

目先で最も有力なのは、既に審議にもかけられた事のあるイーサリアムとなります。ETF上場に関しては、時価総額の大きいメジャーコインが中心であり、バックボーンがものをいいますから、リップルなども候補に上がってくると考えています。

何かと急騰したマイナーなコインが話題になりがちではありますが、仮想通貨で比較的堅実な投資をしたいのであれば、今年はメジャーアルトに注目しておきたいところです。



公 式  
サイト

普通の主婦がFXで10万円を  
300万円にした(継続)

<http://fxshufoo.blog.so-net.ne.jp/>

普通の主婦ゆきママがFXと株を  
シストレで攻略するブログ!

<https://yukimama.net/fks/>

twitter



[@yukiyukimama](https://twitter.com/yukiyukimama)

facebook

<https://www.facebook.com/fxshufoo>

#### 【免責事項】

本レポートは情報の提供を目的としており、投資その他の行動を助言・勧誘し、特定企業を推奨するものではありません。本レポートの情報の利用はもとより、FX等の投資はご自身の判断とリスク負担のもとで行っていただきますようお願いいたします。

また、本レポートに記述してある情報の正確性については万全を期しておりますが、内容を保証するものではありません。したがって、記載が不正確であったことにより生じたいかなる損害に関しても、一切の責任を負わないものとします。

税に関する記載内容については、あくまで筆者の理解ですので、詳細については、国税庁のWebサイトをご覧ください。か、税務署や税理士等の専門家にお問い合わせください。

#### 【ご注意】

本レポートを許可なく転載、公開することは固くお断りいたします。また、本レポートを複製したり、他の媒体に再利用したりする行為も著作権法により禁止されていますので、十分にご注意くださるようお願いいたします。

Copyright © 2018 Yukimama All Rights Reserved.